

ひなたぼっ通信

2020年
11月号

ケアハウスから

「スマのお出かけ、紅葉ツアー」2階

私は当事業所の認知症グループホームで約十年勤務し、今年の四月よりケアハウス2階に異動してきました。大所帯の生活は、皆さん様々です。

「ベランダの窓から見える富士山を楽しみに車椅子で廊下を行き来する方」「プランターで作ったミニトマトや鉢植えの二十日大根の収穫に拍手したり、笑顔になったりなさる方」「塗り絵の花を多彩な色で咲かせる方」「地元新聞でお孫さんの姿を見つけて嬉しそうに職員に知らせる方」などなど。

オンライン面会をされた方はシステムに不思議がったり、スマのご家族様の姿に喜ばれたりしていらっしやいました。中には「息子に会えなくて寂しいのよお」と胸の内を話して下さる方もいます。「お手紙書くのはどうですかあ?」の声掛けに「書いてみようかしらねえ」と笑顔で即答でした。直筆のお手紙には想いが込めますね。

そして、ハケ岳が雪化粧した翌十九日より、紅葉ツアーが始まりました。参加された方は久しぶりのお出掛けで、蓼科湖を見て「久しぶりにここに来て良かったよう。有難う」の声。

これからも皆さんの表情を大事にしていきたい

と思います。(E)

さすが蓼科湖！紅葉の色の鮮やかなことといたら。言葉がないって喋ってるけど……。



「2階から1階へ移動して」1階

私がケアハウスの2階から1階へ移動になり、3か月が経ちました。1階の職員や利用者様のおかげで、約1カ月ほどで利用者さんのお名前や席順を覚えることが出来ました。そして、利用者様がすぐに私の名前を憶えてくれたことにも、とても感謝しています。利用者様の「ありがとうございます」や「また、これよろしくね」という言葉を聞くと、とても嬉しく思います。

ある職員から「1階へ来たばかりだとは思えない、ずっと1階にいるような気がするね。」と言われました。これも、とても嬉しかったです。また他の職員や利用者様から褒めてもらえるように頑張りたいと思います。

新型コロナウイルスの影響でなかなか外に出られない日が続きました。利用者様も外に出たい気持ち溜まっていたと思います。そこでケアハウスでは、感染予防をしっかりとしながら紅葉ツアーを行うことにしました。紅葉ツアーにお出掛け

になった利用者様から「今日、外に紅葉を見てきたよ。とても良かったからまた連れっけてね。」と喜びの声をいただきました。

利用者様の豊かな生活を作っていくために、これからもこういう企画を職員一同、知恵を絞って考えていきたいと思っています。

宅幼老所から

「すてきなお祭り」

実りの秋・味覚の秋・芸術の秋等々、秋には楽しみが沢山ありますが、今年はコロナの影響で色々と行動が制限されています。ご利用者様も同じでしょうか。日々穏やかに過ごして頂ける様に職員一同祈っています。

先日ご利用者様と一緒に干し柿作りをしました。慣れた手つきで皮を剥き紐にくくって、あっという間に100以上あった柿がオレンジ色の玉の暖簾となり、軒先につり下がりました。窓の外を見ては「早く食べたい」「まだ渋そう」「ちゃんと揉まない」と会話が弾み、おやつの時間に食べられるのを楽しみにされています。

ひなたぼっこ祭りも小規模ながら行いました。お昼にお祭り御膳を用意し、職員による腹話術やマジックショーで軽快



に始まりました。詩吟やご利用者様3人娘「シミーズ」による歌“黄色いサクミンボ”。お昼寝をされないご利用者様がひそかに練習を重ね、緊張しながらも笑顔で披露して下さいました。いつもはソファアに横になっっているご利用者様も、この時ばかりはと起きて歌に合わせてタンバリンを叩いて下さいました。ご利用者様の別の一面を見る事が出来、職員とご利用者様とで作り上げた素敵なお祭りとなりました。(Y)

グループホームから

「お食事会」2階グループホームでは、月に一度お食事会をしています。その食事会では、いつもの食事とは違い、利用者様の希望されたメニューを職員と一緒に



作って、食べていただいています。そして、今月はテンホウのチャーメンを食べたいと希望される方がおられたので、地域復興券を使用して、テイクアウトをとることにしました。おそろく久しぶりのことだったのでしようか、テイクアウトのチャーメンを「珍しいな」「久しぶりに食べられて嬉しい。」と仰って、召し上がって下さいました。諏訪の人にとっては、テンホウは懐かしいお店です。親子三代で来店するというのもよく聞く話で

す。利用者の皆様にも、召し上がりながら、家族で食べた懐かしい思い出がたくさん思い浮かんだことではないでしょうか。

復興券をどのように使わせていただくか、いろいろ考えましたが、利用者の皆様が喜んで下さり、とても楽しいお食事会になりました。スタッフとして、本当に良かったと思っています。

フードバンク・無料塾

- ・10月25日の無料塾には3人のお子さんが来てくれました。100円食堂には11人、フードバンクのご利用は8人でした。子ども達は「鬼滅の刃」の話題で持ちきりでした。
- ・次回は11月15日(日)午前10時から。無料塾も100円食堂も行う予定です。ボランティアも募集!

「霜月のおたより ―聞き書き―」1階

短い夏が終わり、秋の深まりを感じる頃となりました。そしてすべに、冬の寒さをヒンヒシと肌を感じる季節になります。御家族の皆様、「コロナ禍で、なかなか思うように、お父様お母様に会えずお寂しい日々をお過ごしでしょうかと思います。

今月は、入居者様より、御家族にあてたお気持ち、お聞きしましたので、どうぞご覧ください(お読み下さい)

- ・息子へ 元気でやっています(S・N)
- ・おまんまちゃんと食ってるか? みんなで暮らし

てるぞ。また、こっち来いよ(S・M)

・仕屋の皆さん元気ですか 私も何とかやっています。私が色々、欲しい物があるんですが...こっちで買ってもらって良いかい?(Y・N)

・ここは御飯が美味しいよ。俺のことは心配するな(H・K)

・いつも病院連れて行ってくれて有難う。会えて嬉しいよ(M・S)

・ご無沙汰しています。そのうち病院に行く時やって、沢山話ししようネ。いつも色々お菓子ありがとう(T・T)

・息子や、冬の暖かい上着もって来ておくれ(N・O)
・父ちゃんは何? 父ちゃんね...父ちゃんね...会いたいね...(T・T)

・私は毎日元気で食事美味しく頂いております。ただ思うことは、歳もあり、いつ、お迎えがあることかと思いつつ、雨戸(カーテン)を開けて、毎朝お空に手を合わせて、笑顔でいることを頼んで、静かに生きれることを、ここ(ひなたぼっこ)から、頼んで、願っておりますね。それが私の毎日のような気がしています。「なんて幸せな人生か」と、お空に向かって話しておりますよ。なんて幸せでしょうと... (S・K)

一日でも早く、自由に面会外出できる日を、願っています。(K)

紙幅の都合で、「放課後から」は割愛

発行 社会福祉法人ひなたぼっこ

理事長 森 正明

〒3909-0211

富士見町富士見11650-1

TEL 02666-61-2635

FAX 02666-61-2636